

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指し、多様な学習活動において深い学びを実現していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が「見方・考え方」を自在に働かせられるような、教師の専門性の発揮と不断の授業改善を実施する ・KU（総合的な探究の時間）において、各教科で学んだ見方・考え方、身に付けた資質・能力を横断的・総合的に活用して、実社会や実生活における課題解決に向けて探究する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①STEAM教育研究を推進していく中で、校内授業研究テーマを設定し、テーマに沿った学習活動を実施する。 ②-1 深い探究活動を実現するため生徒のテーマ設定に関する学習活動の内容を再構築する。 ②-2 例えば学年を跨いで生徒に関われるような体制を構築するなど、学習活動の在り方を抜本的に見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ①テーマを踏まえた学習活動を行い、授業公開や研究授業などを実施することができたか。生徒による授業表「項目6」及び独自項目が9割以上か。 ②学習活動の内容を再構成することができたか。また教師がこれまで以上にKUにおいて生徒に関われる体制を気づくことができたか。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動、部活動の充実をさらに図り、リーダーシップと協働し支える力を育む。 ・学校行事や生徒会活動において、生徒一人ひとりが高い目標を持ち、主体的に参画していけるよう支援を行う。 ・生徒一人ひとりに応じた支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や部活動に参画する経験が、生徒の主体性や創造性、社会性を高めることを意識させる。 ・様々な場面での活動を通して、生徒の主体的な活動を支援する。 ・生徒の状況を把握、共有し、必要な支援を組織的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所属する集団の中で自身の役割が何かを自覚させることで、主体的な行動を促す。 ・生徒会や委員会など主として運営する生徒と教職員の連携を密にし、行事が成功するように集団を導く力が身につくように支援する。 ・生徒一人ひとりの心の健康についても、心のアンケート等を利用して働きかけを行い、必要に応じてSC・SSW等とも連携して学校全体で見守る体制づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケートで「学校行事におけるクラスのまとまり」及び「部活動に満足している」の肯定項目が8割以上か。 ・学校生活アンケート「体育祭」「光陵祭」「学芸音楽祭」の肯定項目が8割以上か。 ・生徒の状況について、SC・SSWを含め情報共有が図れたか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高大接続を見据えて、総合的な探究の時間をはじめとした教育活動を展開し、生徒による将来の自己の在り方生き方の探求を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりに高い目標を意識させ、最も志望する進路が実現できるよう支援する。 ・生徒が将来の自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、進路ガイダンスを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 総合的な探究の時間をはじめとした各教科・科目における教育活動において生徒のキャリア形成につながるよう、キャリア教育、ガイダンス機能の充実を図る。 ①-2 生徒が最も希望する進路を実現することができるように、生徒・保護者対 	<ul style="list-style-type: none"> ①-1 魅力と特色アンケート「キャリア教育を受けたことにより、自分が成長できたと思うか」の肯定項目が8割以上か。 ①-2 キャリアガイダンスや夏期講習等、生徒のキャリア形成や学力向上等を目的とした取組が、多面的に行われたか。

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
				<p>象のキャリアガイダンスをはじめとした各種ガイダンスや、夏期講習等の学力向上に向けた取組をさらに充実させる。</p> <p>①-3 教職を希望する生徒のために学校設定科目「教職基礎」「教職基礎演習」を実施し、教育学部をはじめとした教職に関わる大学への進学を支援する。</p> <p>②-1 生徒の進路実現を図るために、3学年の選択科目の履修指導と時間割の作成を丁寧に行う。</p> <p>②-2 進路実現を図れるよう令和7年度以降入学生の教育課程の更新を進める。</p>	<p>①-3 学校設定科目「教職基礎」「教職基礎演習」において、充実した支援を行ったか。</p> <p>②-1 進路実現を踏まえた選択科目の履修指導を行ったか。</p> <p>②-2 各教科から丁寧に意見を吸い上げ、教育課程の更新を進めることができたか。</p>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携を推進することで、生徒の社会性や協働する力を育む。 ・学校の魅力と特色を積極的に発信する。 ・横浜国大との連携の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣学校との交流事業を推進する。 ・本校の受検を検討している中学生とその保護者に向け、ホームページを活用し、積極的な情報発信に取り組む。 ・横浜国立大学のリソースを活用し、大学との連携をさらに推進させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保土ヶ谷支援学校と行事での交流や交流授業等を行い、協働やインクルーシブ教育を実践する。また権太坂小学校の放課後クラブとの交流も引き続き行う。 ・学校説明会やホームページ等を活用し、本校の教育活動についての情報発信を行う。 ・横浜国立大学のリソースを活用し、探究活動を充実や授業改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加した生徒が協働や多様性について考えることができたか。 ・学校説明会等におけるアンケートにおいて「本校の教育活動への理解」等に関する肯定項目が8割以上か。 ・横浜国立大学との連携を推進できたか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校がめざす姿を共有し、その実現に向けて協働して取り組む組織とする。 ・生徒が安心して通うことのできる体制を作る。 ・生徒と向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職を含め、職員同士が目的意識を共有し、日常的な情報交換・コミュニケーションを図る。 ・質の高い授業の実施、教育相談体制の充実、教育施設や防犯体制の拡充を図る。 ・ペーパーレス化を推進し、校務の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な職員研修を実施し、日常的な情報交換・コミュニケーションの環境づくりに努める。また、生徒の状況把握や職員の連絡体制を充実させる。 ・ICTの日常的な利活用を推進し、職員の報告・連絡・相談体制の整備及び勤務時間内の会議の徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の実施回数が10回以上か。 ・職員への情報発信による共有化に努めるとともに、学校から外部への情報発信が推進できたか。 ・教職員がICTの日常的な利活用等により、組織的な学校運営と校務の効率化が図られたと実感できたか。